

文科省主催「みんなで体験活動ワールド」会場で、JBKの成績優秀者を表彰しました。



第1回ジュニア防災検定の受検者の中から優秀な成績で合格した子ども達に、平野啓子理事長が認定証とバッジを手渡す表彰式が2月2日、文科省主催「みんなで体験活動ワールド」（池袋サンシャインシティ）の会場で開催されました。

表彰されたのは初級12人、中級8人の子ども達。最年少の合格者（小学校2年生＝初級）はインタビューの質問に「（受検は）とても楽しかった」と回答。また団体受検した中学生（中学1年＝中級）は「先生に勧められていつか役立つと思った」と動機を語りました。

続いて平野理事長の語りで「稲村の火」などのミニライブが上演され、災害には日頃の備えと地域の協力が重要であることが伝えられました。親子連れなど多くの見学者が参観し、表彰された子ども達に温かい拍手が贈られました。

1日、2日の2日間にわたるイベントで、防災検定協会からは表彰式だけでなく期間中を通して出展。JBKの事前・事後課題の作品例をパネル展示したブースでは、今回の検定テストの一部分を簡単なクイズ形式にした体験受検のコーナーが設けられ多くの子ども達が挑戦していました。

この検定についてはまだ知らない保護者が多く、パンフレットや展示されているテスト問題を「指示されるのではなく防災について自分で考えるテスト内容が良い」と興味深く見入っていました。

